北高だより

第２００号
令和5年12月

兵庫県立西宮北高等学校
西宮市苦楽園二番町16-80
編集・尾和 宏樹／発行責任者・宮本 美枝子

進路講演会 小林 英健 氏『幸せの方程式』 11月8日(水)

今年度のインスパイア・ハイスクール事業の一環として、近畿医療専門学校の理事長である小林英健（こばやし ひでたけ）氏をお招きし、全校生を対象に講話をいただきました。

氏は、「悩みというものは誰にでもある。総理大臣にも天皇陛下にも悩みはある。人間が悩むのは自分が成長しようとしているからだ。また、トラブルというものは、いつでも起こるが、その人が乗り切れる程度のトラブルしかやってこない。このように考え方をポジティブにすることが大事だ。」とおっしゃっていました。

講演の後の感想文では、生徒それぞれがお話しの中の色んな部分で心を動かされたようで、それぞれが自分自身の悩みと関連させて書いていたことが印象的でした。ある生徒は「自分の中に無限の可能性があることに気づかされた」と述べていました。

生徒会長あいさつ

人権講演会 『ホームレス問題』 11月22日(水)

質問コーナー

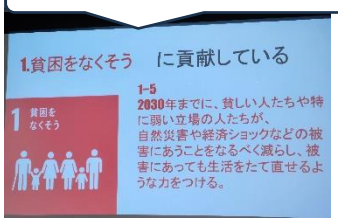
ホームレス問題を考える人権講演会として、実際に『ビッグイシュー』(雑誌)を販売されているY.Tさんと『ビッグイシュー』のスタッフにお越しいただき、ホームレスに対してだけではない偏見や差別、ビッグイシューの販売を通した活動についての話を伺いました。

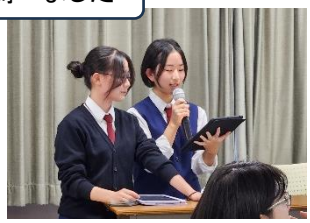
ホームレスとは「状態」を表す言葉で、その人の「人格」を表す言葉ではないということ。誰もがホームレスになる時代であるということ。そして、本当に困ったときは「助けて！」と声を上げればなんとかなるという現実的な内容でした。

ホームレス経験のある人の話を聞くのは初めての生徒が多かったと思いますし、身近な問題と思っていなかったかもしれませんが、質問コーナーでは「一番大変だったことは何ですか」「ホームレスの経験が活きていることはありますか」など、興味を持って多くの質問が出ていました。生徒会長からは「イメージが変わった」との言葉もあり、人権を考える良い機会になったと思います。貴重なご講演をいただきありがとうございました。

インターン中間発表会　１年特色生　11月8日(水)

SDGsに関連している点も調べました





夏休みのはじめ頃から、特色選抜入学の１年生は探究教材インターンを用いた活動に取り組んでおり、その中間発表会が校内で行われました。このプログラムは、各チームがインターンする企業を決め、アンケートを通してその企業についての理解を深めた後、企業が社会へどのような価値を生み出しているのか探求するというものです。

今回は３チームの発表が行われ、３年生の先輩も加わった審査員による審査の結果、キモノハーツのチームが最優秀に選ばれました。

発表の後、審査員の先生からは鋭い質問がいくつも出ましたが、各チームこれまでの調査を元にした受け答えができていました。企業に対する提案では、本当に実現すれば面白い、思わず大人が唸ってしまうような案も出され、審査員の先生も感心していました。

今回選ばれたチームは、３月にオンラインで開催される全国発表会に向けてさらに磨きをかけていきます。

公開授業・PTA試食会　11月2日(木)

3年化学

1年英語

試食会の様子

10月30日からの２週間、教員間で授業見学を行うオープンルームを実施しました。期間中の一日を公開授業日とし、100名近い保護者の方々が来校されました。ICT機器を使った際のスクリーンの見え方等、様々なご意見をいただくことができました。

同日、PTA主催の食堂試食会も行われました。食堂の人気メニューである「とんかつ柳川風」「鶏のチリソース」を保護者の皆様に味わっていただきました。ご準備くださったPTAの皆様、ありがとうございました。

～特色ある授業の紹介～

科学研究◆植物園見学　生物選択者　11月9日(木)

科学研究の生物選択生徒の授業では毎年、近隣の北山緑化植物園にて植物観察をしています。綺麗な見た目にうっとりするだけでなく、花や葉の香りや手触りなど五感を使って観察しました。実の付き方など、疑問に思ったことはiPadを使って記録し、持ち帰ってその後の学びへ生かしました。生徒達にとって、ゆったりとした有意義な時間を過ごすことができました。